

VIOFO[®]

A119 V3

取扱説明書



著作権はViofo Ltdにのみ提供されています。

目次

注意事項	3
取り付け	4
オプション	
取り付け方法	
ヒント	
ボタンと機能紹介	7
端子	
LED	
ボタン機能の説明	
取り付け	11
電源オン	
電源オフ	
ループ録画	
衝撃録画	
録画	
動き検出	
ビデオ再生	
コンピュータに接続する	
マイクをオン/オフにする	
ファームウェアを更新	

目次

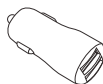
設定	15
システム設定	
ビデオ解像度	
ループ録画	
ビデオフォーマット	
露出	
WDR (ワイドダイナミックレンジ)	
駐車モード	
駐車衝突感度	
駐車動体検知	
インターバル撮影	
動き検出	
GPS	
速度単位	
衝突感度	
日付表示	
GPS情報スタンプ	
モデル情報スタンプ	
録画な音声	
スクリーンセーバー	
ブート遅延	
LED	
日付表示	
タイムゾーン	
言語	
電子音	
明滅の頻度	
画像回転	
フォーマット	
フォーマット警告	
デフォルト設定	
ナンバープレート	
ユーザー情報	
バージョン	

注意事項

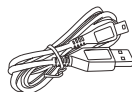
- 濡れた手でカメラを設置または操作しないでください。
- カメラを湿った場所や液体や可燃性ガスに近いの場所に設置しないでください。
- カメラは運転者の視認性や安全性を妨げない場所に設置してください。
- 暑い場所にある車の中にカメラを設置しないでください。
- 定格電圧を超える電源を使用しないでください。
- 製造業者は、他の充電ケーブルを使用することによる責任を負わない。
- カメラや充電ケーブルを分解しないでください。生じた損害は保証の対象外となります。
- レンズを強く押さないでください。
- カメラや付属品の上に鋭利なものを使用しないでください。
- カメラの録画中または電源オフ中は、ファイルの損傷を防ぐためにMicro SDカードを取り出さないでください。
- 10レベルのMicro SDカードを使用することをお勧めします。容量が8GB以上（最大サポート容量は128G）。
- 初めて使用する前に、Micro SDカードをフォーマットしてください。
- ファームウェアを更新際は電源を切らないでください。
- このマニュアルの製品の機能および内容は変更することがあります。

取り付け

■ オプション



USBカーチャージャー



USB電源ケーブル (4m)



USBケーブル



非GPSモジュール



クリップ



GPSモジュール
(マウントベース)

注意:

長ミニUSBケーブルは充電用です。短いUSBケーブルはカメラとパソコンを接続する時にファイルを転送用です。

■ 別売りオプション



偏光フィルター

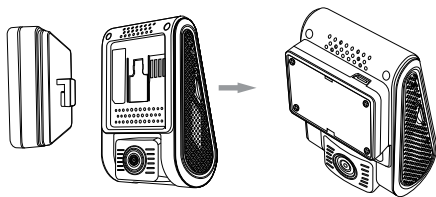


降圧ケーブル

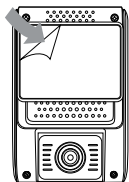
取り付け方法

1) マウントベースの取り付け

- ① マウントベースとマウンティングレールに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。



- ② 3Mステッカーから保護シールをはがします。



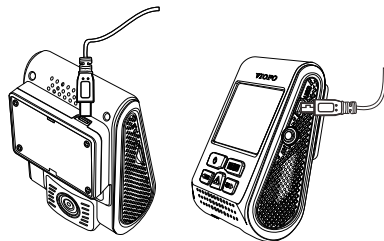
- ③ 本機を選択された位置に取り付け、レンズ角度を調整します。

2) 電源接続

車両の12 V/24 VソケットにUSB電源アダプタを差し込みます。
USBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。

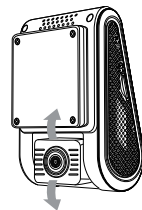
注意:

- ① GPSモジュールの場合は、上のミニUSB端子またはドライブレコーダーの端子を充電してください。
② 非GPSモジュールの場合は、ドライブレコーダーのミニUSB端子を充電してください。



3) レンズを調整する

レンズを上下に動かして角度を調整します。



ヒント:

- 動体検知機能は駐車監視にのみ推奨され、運転中に「動体検知」機能がオンになると、常時録画できない場合もあります。
- 本機が録画モードの時、衝撃力を測定するとループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。

低く設定することをお勧めします。

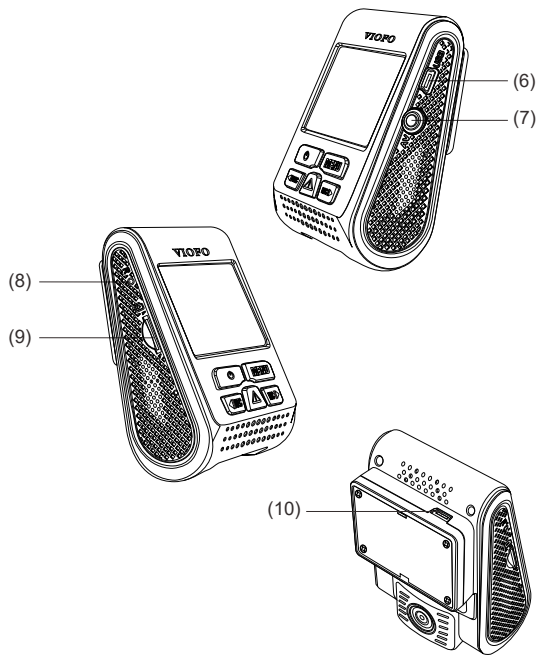
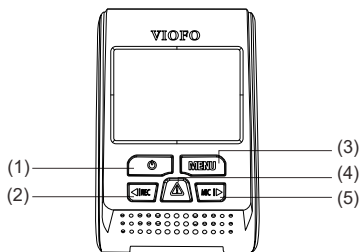
- 運転者の視界を妨げたり、運転の安全性を妨げたりする場所にカメラを設置しないでください。
- 録画を見やすくするために、バックミラーの近くにレコーダーを取り付けます。
- 雨天時にははっきりと見えるように、フロントガラス用ワイパーのワイパー範囲に製品を取り付けてください。
- レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。
- 車両のリアガラスにサンバイザーが取り付けられている場合は、サンバイザーの使用によってレコーダーが影響を受けない位置を選択する必要があります。カメラの近くに他の電子機器を取り付けしないでください。

注意:

カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けしないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされたいかなる怪我または死亡に対しても責任を負いません。

ボダンと機能紹介

ボダン



- (1)電源 (2) 録音/左 (3)メニュー (4) 緊急/確認
(5)マイク/右 (6) ミニUSB端子 (7) AV出力 (8) リセット
(9) Micro SDカードスロット (10) USB端子

LED

LEDカラー	操作
赤く点灯	電源オン、録画中
赤く点灯	1.電源オン、スタンバイ 2.アップグレード

ボタン機能の説明

モード	ボタン	操作
スタンバイモード		電源オン/オフ
		メニュー表示
		プレイリスト表示
		録画を開始
		録音を停止/開始

ビデオモード		スクリーンを閉じる/開く
		写真を撮ります
		録画中のファイルをロック
		録画を停止
		録音を停止/開始

再生ビデオモード		電源オン/オフ
		前のデータへ戻る
		1.最後のビデオを選択 2.ビデオを削除
		1.次のビデオを選択 2.ビデオをロック/ロック解除
		1.選択したビデオを再生する 2.ビデオの再生/一時停止

メニューモード設定		スクリーンを閉じる/開く
		録画モードに戻る
		最後の機能を選択
		次の機能を選択
		機能選択表示

		00:00:00		録画モード
		1440P30	00:00:00	録画時間
			1440P30	ビデオの解像度
				録音状態
				緊急ロック
				マイク
				SDカード
2019/05/01 08:32:10				

取り付け

1) 電源オン

MicroSDカードをカメラのカードスロットに挿入します。
車両の12 V/24 VソケットにUSB電源アダプタを差し込みます。
USBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。
エンジンをオンにすると、カメラは自動的にオンになります。

2) 電源オン/オフ

- ① 自動: ドライブレコーダーの電源が入ったら、エンジンを切るか充電ケーブルを抜く場合、カメラの電源が自動的にオフになります。
- ② 手動: エンジンがオフになった後も12V / 24Vの電源コンセントを使用して連続電力を供給する場合は、カメラを手動でオフにする必要があります。
- ③ カメラの電源が入っているときに、電源ボタンをカメラの電源を切るには5秒以上かかります。
- ④ 電源ボタンを3秒以上押し続けて電源を入れます。
カメラがオンになりました。

3) ループ録画


- ① micro SDカードが挿入されたレコーダーが電源に接続されると、ループ録画が自動的に開始されます。
- ② 録画時間(ファイル生成時間)を「1/2/3/5/10」分から選択できます。
- ③ SDカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きされていくので、途中で録画が停止することはありません。
- ④ ループ録画ファイルはSDカードに保存されます。 \ DCIM \ MOVIEフォルダ

4) 衝撃録画

① 自動緊急録画

録画中に衝撃を感知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。
(注意: 衝突感度はメニュー設定 -> 「衝撃感度」オプションで調整できます。)






② 手動緊急録画

録画中に[]ボタンを押すと、現在録画中のファイルがロックされます。ロックされると、ファイルは上書きされません。

5) 動体検知

オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。


6) ビデオ再生

- ① スタンバイモード(録画されていない状態)で、[]ボタンを押してプレイリストに入ります。
- ② 矢印キー[] []を使って希望のビデオを選択し、[]ボタンを押して再生します。
- ③ []ボタンを押して終了します。

7) コンピュータでビデオを再生する

- ① 付属のミニUSBケーブルを使って、レコーダーをコンピューターに接続します。
- ② レコーダーの電源がONになり、画面に「SDカードリーダーモード」が表示されます。
- ③ 自動的にリムーバブルディスクとして認識されます。
- ④ DCIMフォルダは3つのフォルダがあります。
Movie（ループ録画ビデオファイル）
RO保護された/ロックされたビデオファイル）
Photo（映像写真）
- ⑤ コンピューターに必要なファイルをコピーします。

8) マイクをオン/オフ

[] ボタンを押して、マイク機能をオンまたはオフにします。

9) ファームウェアを更新

- ① 最新のファームウェアをダウンロードしてファイルを開きます。
- ② .binファイルをMicro SDカードに移動してください。
転送が完了したら、Micro SDカードをカードスロットに挿入し、ドライブレコーダーの電源をオンにしてください。
- ③ 更新の進行状況をLEDランプの点滅状態で確認できます。
更新後、カメラは自動的にオンにします。
- ④ 現在インストールされているファームウェアのバージョンをメニューで確認できます。

注意:

ファームウェアを更新する前に、レコーダーでメモリーカードをフォーマットすることをお勧めします。

– ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

システム設定

ビデオモードでメニューボタンを押してシステム設定ができます。

- 解像度：録画したビデオの解像度を設定します。

解像度：560 x 1600P 30fps; 2560 x 1440P 30fps; 2304 x 1296P 30fps; 1920X1080P 60fps, 1920X1080P 30fps, 1280X720P 120fps, 1280X720P 60fps, 1280X720P 30fps

- ビットレート：ビデオのビットレートを設定できます。高ビットレートを使用すると、特に高速モーションや高コントラストのシーンを録画するときに、ビデオの画質と滑らかさが向上します。高ビットレートを使用すると、メモ리카ードで使用可能な録画時間が短くなる可能性があります。低ビットレートを使用すると、メモ리카ード容量を節約して長時間録画できます。

- ループ録画：録画時間(ファイル生成時間)を [0/1/2/3/5/10] 分から選択できます。

- ビデオフォーマット：オプションは.MP4 .TSビデオフォーマットです。TS形式はファイルの破損を避けるために優れています。

- 露出：映像の明るさ(光量調節)を調節できます。露出値は-2.0から+2.0の範囲です。フロントカメラとリアカメラの露出値は別々に調整できます。デフォルト設定は0.0です。

- WDR (ワイドダイナミックレンジ)：WDRをオンにすると、白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

- 駐車モード：レコーダーは3つの異なる駐車録画モードをサポートします。

① イベント検出

このモードを選択すると、モニターの監視範囲内で動いている物体が感知されると1分間自動的に録画が開始されます。

② タイムラプス録画

タイムラプス録画は1/2/3/5/10/15 fpsの低いフレームでビデオを録画し、タイムラプス録画は録音しません。

③ 低ビットレート録画

フロントとリアカメラは4MB/sの低ビットレートでビデオを録画します。通常の録画モードと比較してより多くの録画が保存できます。

注意：駐車監視機能は電力を供給するのに長い時間を必要とします。バッテリーの消耗を避けるために、弊社のVIOFO HK3 ACC降圧ケーブルを購入することを勧めます。


- 駐車動き検出：Gセンサーは大きな衝撃や突然の動きを検知し、イベントの記録を開始します。駐車モード録画では高感度に設定することをお勧めします。

- 駐車動き検出：検知の感度を調整します。駐車モードでは、風や雨によるわずかな動きは録画は行われません。

- インターバル撮影：低フレームレートでビデオを録画すると、メモリを節約し、ビデオの再生にかかる時間を短縮できます。デフォルト設定はオフです。

- 動体検知：オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。

- GPS：GPS機能のオン/オフを切り替えます。GPSモジュールは、車速と位置情報を記録するために使用されます。オフするとき、レコーダーは車両の速度と位置を記録せず、日時を自動的に同期しません。ビデオを再生し、GPSの軌跡と速度を表示する場合、「Dashcam Viewer」プレーヤーを使用してください。

- 速度単位: キロメートル/時 (KMH) とマイル/時 (MPH)。
 - Gセンサー: Gセンサーは衝撃力を測定し、ループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。低く設定することをお勧めします。
 - 日付表示: 録画したビデオに時刻と日付を表示します。
 - GPS情報スタンプ: 録画したビデオにGPS情報を表示します。
 - モデル情報スタンプ: 録画ビデオにカメラモデルを表示します。
 - 録画な音声: マイクのオン/オフを切り替えます。
- 録音中にマイクボタン [] を押してマイクのオン/オフ変更ができます。
- スクリーンセーバー: 何の操作も行わないと3分後にデフォルトで画面が黒くなります。
 - ブート遅延: 電源を入れると、起動時間を増やし、5 sと10 sの遅延起動することができます。
 - LED: LEDライトをON / OFFします。
 - 日/時刻: システムの日付/時刻を設定します。
 - タイムゾーン: 現在のエリアタイムゾーンを設定します。(日本GMT+9:00)

注意: 手動で夏時間を調整しなければなりません。

- 言語: 各種言語に変更可能です。(英語、中国語、フランス語、日本語など)
- 電子音: ボタンの音と電源オンの音をオンまたはオフにします。
- 明滅の頻度: 地域の使用電圧に応じて周波数を調整してください。
- 画像回転: この機能をオンにすると、ホスト画面表示と録画

ビデオが180度回転します。

- フォーマット: SDカード上のすべてのデータを削除します。
注意: SDカードをフォーマットすると、すべての情報が削除され、復元することはできません。操作する前に、必ずすべての重要なファイルをコピーしてください。
- フォーマット警告: フォーマットリマインダーの間隔を設定します。
- デフォルト設定: デバイスを出荷時設定に復元します。
- ナンバープレート: 録画したビデオに車番号を表示します。
- ユーザー情報: ユーザー情報をビデオで表示します。
- バージョン: レコーダーの現在のファームウェアバージョンを表示します。

カスタマーサービス



12ヶ月保証, 生涯技術サポート



supportjp@viofo.com



www.facebook.com/viofo.world



+86 755 8526 8909 (CN)



営業時間: 月~金曜日: 9: 00~18: 00(GMT+8)